

戦略プログラム項目一覧 進捗管理表（R3第4四半期）

基本方針	施策	戦略プログラム項目	LP	主担当	整理番号	取組年次計画			R4.3.31時点での進行評価	成果や課題
						取組内容	2020(R2)	2021(R3)		
1 安全・安心な運行体制の確保	(1) 安全対策の徹底									
	職員研修の充実	○	管理班	1-1-1	安全管理研修	コロナの影響により資料配布のみ	実施	○	・安全管理研修については、コロナ感染症の影響により資料配布にて実施した。 ・年末年始安全総点検研修については、各部門との連携及び連絡体制の確認等を目的に警察との合同訓練を実施した。 ・11月に広島電鉄を視察し、効果的な取り組みについて導入を検討した。	
					年末年始安全総点検研修	実施	実施			
					先進他事業者ノウハウ導入	－	調査			
	運転技能の向上	○	管理班	1-1-2	フォローアップ研修(2年目の運転士)	－	新規実施	○	・フォローアップ2年前期(6/21-4名実施)、フォローアップ2年後期(10/8-4名実施) ・運転実務の評価を行う運転実務検定については全運転士を対象に実施した。 ・運転指導者講習会は10月6日・7日の2日間オンラインにて参加した。	
					運転実務検定	実施	⇒			
					運転指導講習会受講	コロナの影響により見合わせる	実施			
	運輸安全マネジメントの推進		管理班	1-1-3	交通安全推進委員会開催	毎月開催	⇒	○	毎月委員会を開催し、事故発生状況の情報共有を図り、事故防止策等について立案、実施、見直しを行った。また、マネジメント内部監査については3月に実施し、安全管理体制の確認を行った。	
					運輸安全マネジメント内部監査	毎年開催	⇒			
	安全意識の醸成		管理班	1-1-4	ヒヤリ・ハット情報収集箱の設置・掲示	実施	⇒	○	・ヒヤリ・ハット情報収集箱を設置し、情報収集を行った。 ・営業所職員を班ごとに管理し、LINEを活用したヒヤリ・ハット情報の収集を行った。 ・事故0の日安全講話については、10月12日に午前、午後の2回実施した。	
					(投稿がない場合)アンケート調査による事例の抽出	－	実施			
					事故0の日安全講話	実施	⇒			
	(2) 災害対策等の強化									
	災害時に対応できるダイヤ作成	○	管理班	1-2-1	ダイヤ作成	－	3ダイヤ	○	災害時のほか、コロナウイルス感染症等の影響で乗務員の確保が困難な場合にも対応できるよう20%・30%・50%の削減ダイヤを作成した。	
	災害時の業務体制強化		総務経理班	1-2-2	「熊本市交通局防災計画(仮称)」等の整備・各種マニュアルの点検	－	整備	△	・災害時の初動対応マニュアルについて令和4年度改定予定。 ・熊本県警察と連携した非常事態を想定した防災訓練を令和3年12月に実施済。	
					各種防災訓練	実施	⇒			
					車両避難シミュレーション	－	実施			
	テレワークの推進		総務経理班	1-2-3	モバイルPC等の導入	－	実施	○	・令和3年9月、新たに局内にモバイルPCを2台追加。 ・令和3年7月～8月、本庁に準じて交通局でもテレワークデイズ2021を実施	
					テレワーク実施日の導入	－	検討			

基本方針	施策	戦略プログラム項目	LP	主担当	整理番号	取組年次計画			R4.3.31時点での進行評価	成果や課題
						取組内容	2020(R2)	2021(R3)		
	(3)	安全輸送を支える基盤設備の強化								
		軌条更換		施設班	1-3-1	軌条更換	・競輪場通り交差点～水前寺終点	・大甲橋左岸～九品寺交差点 ・動植物園入口電停付近 ・交通局前渡線	△	令和3年度に実施を予定していた大甲橋左岸～九品寺交差点間軌条更換及び交通局渡り線更換工事については、入札不調により令和4年度へ繰越。
		電柱建替		施設班	1-3-2	電柱建替え	—	—	該当無	練兵町におけるマンション建設に伴い、民間施工により電柱1本の建替えを実施済。
		車両の延命化対策（旧型車両：1200形・1350形）	上熊本車両工場	1-3-3	交流冷房機への更新	—	実施	○	・令和3年度は2両(1205・1207)について交流冷房化を契約済。また、令和4年度も、2両(1201、1356)の交流冷房化について契約手続きを進める。 ・その他業務(LED化、窓枠、塗装、屋根補修)は、令和4年度に実施する。	
					車体内外部の補修及び窓枠等の取替	—	検討			
					照明等のLED化	—	検討			
		車両の長寿命化対策	上熊本車両工場	1-3-4	VVVFインバータ制御装置更新	—	検討	○	・VVVFインバータ制御装置に関しては、令和4年度に8802号車の予防保全業務を行う。 ・8800型の空調制御装置、空調装置更新は見送り、年次計画されていた8501～3号に設置する。	
					空調装置更新	—	実施			
					空調制御装置更新	—	実施			
		事故防止対策	施設班	1-3-5	軌道敷カラー舗装・路面標示	—	3箇所	○	・軌道敷カラー舗装は5箇所施行済。 ・ポールコーンは1箇所に設置済。 ・運行管理カメラは、令和2年度からの繰越事業として、通町筋電停に設置を行った。	
					弾性ポールコーン設置	2箇所	1箇所			
					運行管理カメラの設置	2電停	—			

基本方針	施策	戦略プログラム項目	LP	主担当	整理番号	取組年次計画			R4.3.31時点での進行評価	成果や課題
						取組内容	2020(R2)	2021(R3)		
2 質の高いサービスの提供	(1)	輸送需要等への的確な対応								
		計画的な車両更新	○	上熊本車両工場	2-1-1	超低床電車購入	—	検討	○	令和3年度は、多両編成車両設計業務受託事業者選考委員会のメンバーを選定し、委員会の開催に向けた準備を行った。令和4年度は、委員会を開催するとともに、車両設計を実施する。
					旧型車の廃車	—	—			
		運行ダイヤの見直し	○	管理班	2-1-2	ダイヤ改正	日祝ダイヤ	コロナ対応 土日祝ダイヤ として見直し	△	・急行運行の代替案として折り返し運行を検討し、11月に試験運用を実施。折り返し運行の効果が確認できたため、本格導入として、令和4年度にダイヤ改正を実施。
					急行運行	検討	⇒			
		多両編成車両に対応した施設改修	○	施設班	2-1-3	電停改修	—	測量設計 ①	○	・多両編成車両に対応するため、電停改修測量設計業務を実施した。また、同様に必要となる車両工場の改修について、改修内容の検討を行った。
					車両工場の改修	—	検討			
	(2)	誰もが快適に利用できる環境整備								
		デジタルサイネージの導入	○	管理班	2-2-1	デジタルサイネージ設置	1電停	8電停	○	・令和3年度は1電停(熊本城・市役所前)に設置済。 ※令和3年度は当初補助内示割れのため、事業規模を縮小(8電停→1電停)したものの、補助金の追加採択により財源の見通しがたち、事業を繰り越して令和4年度に8電停設置することとなった。
		運賃収受のキャッシュレス化	○	営業推進班	2-2-2	新たな運賃収受方法の導入	実施検討	QRコード決済導入	△	令和2年度、モバイル市電1日乗車券導入済 令和3年度、モバイル定期券導入済 令和4年度、タッチ決済の実証実験を実施 ※QRコード決済は決済に時間がかかる等の理由により検討を見送っている
					1日乗車券のモバイル化	スマホアプリ導入	新たな運用検討			
		インターネットを活用した情報発信	○	経営企画班	2-2-3	ホームページの改修	—	—	○	令和3年度は、Twitterでの発信頻度が少なかったが、令和4年度は大きなトピックだけでなく、日常的な業務についても積極的に発信していき、交通局の認知度及び好感度の向上に取り組んでいく。
					ツイッター広報	実施	⇒			
		電停のバリアフリー化		施設班	2-2-4	電停改良に伴う電線張替え	動植物園	辛島町	○	令和3年度は3電停の電停改良工事に着手し、辛島町上下電停、動植物園入口上下電停については2月末、通町筋下り電停は3月上旬に工事完了した。
					軌道移設・電停改良	辛島町 動植物園入り口 通町筋	⇒ ⇒			
		定期券の利便性向上		営業推進班	2-2-5	スマートフォンを活用した定期券の導入	実施検討	導入	△	令和3年度、モバイル定期券導入済(再掲)
					6ヵ月定期の新設	—	検討			
	利用者ニーズの調査		経営企画班	2-2-6	WEBアンケート調査	実施	⇒	○	11月に例年の利用者満足度調査に加え、車両に関するアンケートを実施。 健康アプリを活用したことで、回答者数は前年比2.5倍増、満足度も2.8P上昇。	
	乗車マナー向上・車内での迷惑行為防止		管理班	2-2-7	ポスターによるマナーアップ啓発	実施	⇒	○	・マナーアップポスターについては、熊本デザイン専門学校と協働し作成し、沿線高校、市役所1階ロビー、車内、電停に掲示。 ・女性優先車両は朝ラッシュ時に運行中。	
				女性優先車両の導入	試験導入方針決定	実施				

基本方針	施策	戦略プログラム項目	LP	主担当	整理番号	取組年次計画			R4.3.31時点での進行評価	成果や課題
						取組内容	2020(R2)	2021(R3)		
	(3) 公共交通ネットワークの利便性向上									
		他公共交通機関との乗り換え利便性向上	○	営業推進班	2-3-1	他公共交通機関と連携した新たなサービスの導入(MaaS化の推進)	協議・検討	実証実験効果検証	△	移動円滑推進課主導で実施されているMaaS準備会及び勉強会に参加中
		バス事業者との共同経営の推進	○	経営企画班	2-3-2	共同経営計画の策定	検討	計画策定	△	第2期共同経営計画策定に向け、適宜WGや部長会議、社長会議に参加。 市電・バス共通定期や結節強化について検討してきたが、具体的な事業化には至らず。令和4年度も引き続き連携を行う。
	バスとの新サービスの実施					検討	方針決定 実証実験			
	(4) 観光・文化施策や地域との連携									
		観光・文化政策との連携	○	営業推進班	2-4-1	観光担当部局と連携したPR	協議	実施	○	・電停での観光・文化情報発信を実施中。デジタルサイネージの増設に併せて順次拡大していく。 ・企画電車については、アート市電(R3.3月実施)、走る市電ミュージアム(R3.7月から実施)、チャギントラッピング電車運行(R3.12月から)等を実施。 ・令和4年度はピアガー電を再開。
						観光・文化情報の発信	実施	⇒		
						企画電車・熊本の市電文化PR	検討	実施		
		開業100周年記念事業		経営企画班	2-4-2	記念セレモニーの実施	—	—	○	100周年イベントや記念誌発行に向けたスケジュールを作成したうえで資料収集など準備を行っており、来年度以降の作業に向け、企画書を局内で共有。 令和4年度、局内でWGをつくり、具体的な議論に入る。
						記念誌の発行	—	資料収集等作成準備		
その他の記念事業(制服刷新他)						—	内容検討			

基本方針	施策	戦略プログラム項目	LP	主担当	整理番号	取組年次計画			R4.3.31時点での進行評価	成果や課題
						取組内容	2020(R2)	2021(R3)		
3 経営基盤の強化	(1) 安定的な人材確保と育成									
	乗務員の育成	○	総務経理班	3-1-1	各種検定の支援	—	検討	○	・タウンガイド育成制度のための各種検定支援制度の導入及び国際交流員による出前講座の開催について関係各課と整理済(令和4年度実施予定)。 ・救急救命講習については、コロナ感染症拡大により令和3年度は中止。	
					救急救命講習	—	実施			
					接遇研修	実施	⇒			
	技術継承研修の実施	○	施設班	3-1-2	外部講師による研修机上・現場研修の拡充	実施	⇒	△	・先進地視察については12月実施。 ・外部講師による研修については、年度内実施(1～2月)の予定だったが、コロナのため実施できず。令和4年度以降再度実施を検討。	
					現地での技術指導	実施	⇒			
					先進地(他都市)視察	—	実施			
	職員表彰制度		総務経理班	3-1-3	規定、要綱の整備	検討	実施	○	・表彰制度の見直し及び班別表彰制度の制度設計を行い、令和4年度より運用開始。	
					新たな表彰類型の導入、運用	検討	⇒			
					既存の表彰類型の見直し	検討	⇒			
	(2) 収益力の向上									
	広告収入の増収		営業推進班	3-2-1	営業活動の強化	実施	⇒	△	・営業活動の強化は未着手。 ※令和4年度は指定広告代理店への営業(メールによる申込案内)を実施。 ・令和3年度は広告枠の空き状況の見える化を図るべく、HPでの空き状況公開を実施。 ・新規媒体は、令和4年度からデジタルサイネージ広告を運用開始。	
					新規媒体の導入	検討	実施			
	不用品の売却		総務経理班	3-2-2	不用品買取業者へ売却	実施	⇒	○	・不用品売却(屑鉄)実施済、売却額:687,625円(税込) ・官公庁オークション実施済 落札件数:28件(落札率75.6%)、落札金額:255,640円(税込)	
					官公庁オークション	実施	⇒			
	資金運用方法の見直し		総務経理班	3-2-3	余裕資金による運用	検討	実施	該当無	—	
	インターネットを活用した新たな財源の確保		総務経理班	3-2-4	クラウドファンディング等を活用した資金調達	検討	⇒	○	・令和3年度は次年度実施に向けた課題について関係各課と整理 ・令和4年10月からクラウドファンディング実施中	
	(3) 更なる経営の効率化									
	施設の最適化及び計画的な更新	○	施設班	3-3-1	変電所の維持管理	—	—	○	・施設の適正化については、関係法令等について調査するとともに、課題整理を行った。また、変電所の維持管理については、令和4年度に長寿命化を目的とした細密点検を行うこととしている。	
					施設の適正化	課題整理検討	⇒			
	信用乗車制度の導入		管理班	3-3-2	信用乗車導入	—	検討	○	信用降車の手法やそれに必要なシステム改修等について検討中。	
	(4) 経営形態の抜本的見直し									
	経営形態の検討と雇用環境の見直し	○	経営企画班	3-4-1	経営形態の見直し	検討	経営分析方針決定	○	令和3年度は、交通事業運営審議会及び議会に対し、経営分析結果や検討状況を報告。令和4年度は、庁内WGやコンサルと連携し、具体的な制度設計を進める。	